

せせらぎ菖蒲園は

ふるさと創成事業と市制施行20周年の記念事業として整備された山崎公園は、市民誰にも親しんでいただけるよう「せせらぎ菖蒲園」の愛称をいただきました。せせらぎ菖蒲園は、水と緑を基調とした春から秋にかけての花木の彩りと、夏には滝を水源とするせせらぎや徒渉池での水遊びが可能といった特色をもつ、世代を問わない市民の憩いの場になるものと確信しております。

—公園緑地課—

- 公園の名称
山崎公園（愛称名：せせらぎ菖蒲園）
- 公園の所在地
富士見市大字水子184
- 公園の体系
公園は6つのゾーンから構成され、それぞれ入口広場ゾーン、遊戯広場ゾーン、溪流ゾーン、芝生広場ゾーン、菖蒲田ゾーン、野の花ゾーンに分別される。
- 入口広場ゾーン……文字どおり公園の入口にあたり、駐車場を含む公園の顔となる部分である。
- 遊戯広場ゾーン……トイレを配した多目的広場の要素があり、幼児・児童が遊べる砂場を有する。
- 溪流ゾーン……築山の頂から流れ落ちる滝と背景の樹林のセッティングにより庭園を意識させる。
- 芝生広場ゾーン……滝と菖蒲田を見渡せるくつろぎのスペースであり、腰を下ろしての語らいの場に最適。
- 菖蒲田ゾーン……約1,000平方メートルの敷地に5,000株60種類の花菖蒲が植えられ、ハッ橋を歩きながらの観賞も趣きがある。
- 野の花ゾーン……せせらぎを横目に散策すると太鼓橋やメガネ橋を渡り、ちびっこの遊べる徒渉池がある。また、花菖蒲に合わせて400㎡部分に咲くポピーが賑やかに彩りを添えます。

- 公園の種類
都市公園（近隣公園）
- 公園の規模
約1.2ha

花菖蒲についての基礎知識

はなしょうぶは、日本に自生する植物から、日本人独自の観賞眼で選ばれてきた園芸植物です。古くは江戸時代にはじまり、肥後（今の熊本県）や、伊勢（今の三重県）の松阪、海を渡ってアメリカなどで育てられ、花姿には各地の土地柄や気候風土が反映されています。自然の中からより美しいものを求める人々のところから、今日の多彩なはなしょうぶが作り出されました。

(1) 基本事項

- 草木植物球根（宿根草）
- 繁殖：株分け・播種
- あやめ科あやめ属（夏緑多年草）
- 日照：陽地～半陽地
- 花期：5月末～6月末（梅雨期）
- 土壌：やや湿り気の多い排水の良い土
- 花色：白・紫・紅・絞り等

(2) 栽培方法

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
形態	休眠期	萌芽期	仲長期	開花期	分けつ	結実期	休眠期					
作業内容			除草		施肥(芽出し肥)	灌水(かんがい水)	追肥	止め肥				
					※株分け		※株分け	植付期				

※水田栽培における株分けは敷地をブロック分けし、3～4年/回を目安に順次行う。

(3) その他

○品種について

大きくは江戸系、肥後系、伊勢系、外国系の4つに区別されるが、江戸系のものが最も多く見られる。

区別	はなしょうぶ	あやめ	かきつばた
適地	湿地または乾地	乾燥地	湿地または浅水池
開花期	5月下旬～6月	5月上中旬	5月中下旬
葉	幅中位、主脈が太い	幅せまく濃緑色 主脈不明確	幅ひろく黄味をおび 主脈細小
花色	紅紫、紫、白、絞り 覆輪など、野生種は紫	紫まれに白	青紫のほか紫白、 絞りなど

江戸系：今は昔、江戸の堀切（東京・葛飾）に集められ、発達してきた仲間です。江戸っ子にとって、はなしょうぶは、にぎやかで粋な花として好まれていました。風や雨に強く、葉は剣をたてたようにすっきりと伸び、さわやかな印象を与えます。爪咲きや玉咲きなど変わった花の形もあり、色彩豊富です。花がいっせいに咲きそろった時の群生実が見事です。

肥後系：熊本では鉢に咲かせ座敷に並べて鑑賞する流儀がうけつがれてきました。全体に力強く堂々とした風格があり、華やかな雰囲気をもっています。つぼみから花開くまでの間に花の表情が変わってゆくものもあります。肥後ははなしょうぶは、つばき、あさがお、しゃくやく、さざんか、きくと並んで肥後六花と呼ばれています。

伊勢系：三重県は伊勢松阪地方で、独自に発達してきた仲間です。花びらがおだやかに垂れ下がり、優美で繊細な風情です。色彩も淡くほのかなものも多く、花の表情が時間と共に微妙に移りかわるものもあります。伊勢ははなしょうぶ、伊勢ぎくや伊勢なでしこと共に伊勢三花として知られています。

外国系：おもに江戸系と肥後系の品種をもとにして、アメリカなどで育てられてきた仲間です。欧米式の花壇に植えるために改良され、性質も丈夫なものが多くみられます。新しい色彩や姿をもつものなどがあって、現在注目されています。

はなしょうぶの系統

